



諏訪の杜だより

四日市 諏訪神社

【創刊2号】
平成26年6月号

年2回(6月・12月)発行
発行:諏訪神社氏子総代
編集:諏訪神社にこにこPJ
四日市市諏訪栄町22-38
TEL059-352-2422(諏訪神社)

夏まつり「山津見神社例大祭」のご案内 【8月2日・3日】

境内北側に鎮座する山津見神社は、旧四日市・旧浜田地区の各町内に鎮座されておりました48の社を、明治41年(1908)2月1日に移転合祀したものです。合祀されたそのほとんどが山祇の神であったことにより、「山の神さん」の愛称で親しまれています。

毎年8月第一日曜とその前日を例大祭とし、本年は8月2日・3日の両日に執り行われ、氏子各町の代表出席のもと、町の安全と幸福を祈願いたします。

また当日は、市民イベント「大四日市まつり」の期間中のため、境内には露店が立ち並び、協賛行事として市内各地に伝わる獅子舞や民謡踊などが披露されます。ぜひ、ご参拝くださいますようお願い申し上げます。

■8月2日(土曜日)

10時00分〜 神酒所祓い

●大四日市まつり協賛事業

郷土の文化財と伝統芸能(民謡と獅子舞)披露

■8月3日(日曜日)

19時00分〜 祭典 山津見神社拝殿

●大四日市まつり協賛事業

郷土の文化財と伝統芸能(獅子舞)披露

※大四日市まつり関連の詳細は主催者にお問い合せください。



例大祭・四日市祭の「寄合」開催される

去る5月14日、本年度の例大祭の概要について関係者に諮る「寄合」が諏訪神社社務所で開催されました。

中央・共同・同和・港・浜田地区連合自治会長、各奉納行事保存継承団体代表、諏訪栄町地区街づくり協議会長、四日市祭実行委員会役員、NPO四日市郷土文化財保存会代表に、諏訪神社宮司、諏訪神社氏子総代が加わり、世話人(諏訪神社にこにこプロジェクト)による進行の元、闊達な意見交換が行われました。その結果、

■本年度の例大祭日程 10月4日・5日

■奉納行事の参加表明

- 浜田舞獅子(同保存会) 南浜田舞獅子(南浜田町)
- 鯨船・明神丸(南納屋町) 大入道(中納屋町)
- 富士の巻狩り(南浜田町) 大名行列(旧比丘尼町)
- 菅公(旧新丁) 岩戸山(本町通商店街)
- 甕破り(四日市商店連合会) 御諏訪神輿(同保存会)
- 四日市諏訪太鼓(同振興会)

となりました。大入道は2年ぶり、富士の巻狩りは3年ぶりの奉納となり、奉納行事が勢ぞろいします。



▲愛嬌たっぷりの「大入道」



▲勇壮な時代絵巻「富士の巻狩り」

諏訪神社に「に」プロジェクト

主催行事のご案内

「諏訪神社に「に」プロジェクト」は、諏訪神社を中心に、門前町を盛り上げようと、さまざまな職業、幅広い年代のみなさんにより立ち上げられた任意の市民活動団体です。みなさんが「に」できる活動をして、「に」という主旨でちなんで命名され、毎月22日を定例会として活動しています。

● なちゆるる市場の開催
プロジェクトが主催する、主な活動を紹介します。

愛情いっぱい買った手づくり品や、さまざまなアートを販売するブースが境内に並びます。

● 開催日／毎月15日午前10時から午後3時

(※8月はお盆のためお休みです。)

● 雨天の場合は商店街アーケード内で実施します。

● 池をきれいにしよう

境内にあるふたつの池は、かつては小川でしたが、流れる水が少ないため、よごんだ状態になっています。

そこで年に一度、「子ども四日市プロジェクト」(連絡先 059-3300841) すわ公園交流館」の協力を得て、池掃除と生き物観察会を行っています。

● 開催日／8月30日(土) 午前9時から



▲これまでの池掃除の様子



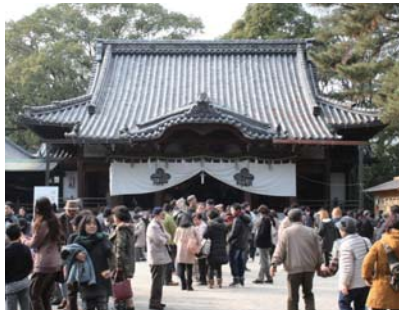
▲素敵な出会いがあるなちゆるる市場

諏訪神社 年間祭事のご案内

- 6月30日……………夏越しの大祓い
- 8月第一土・日曜日(第一日曜とその前日)
……………山見神社例祭
- 10月第一土・日曜日(第一日曜とその前日)
……………例大祭(四日市祭)
- 11月23日……………新嘗祭
- 12月31日……………年末の大祓い
- 1月1日……………歳日祭
- 1月15日……………どんど(正月飾り等のお焚きあげ)
- 2月第一日曜日……………豆まき神事(節分祭)
- 2月17日……………祈年祭
- 4月9日……………政成稻荷神社例祭
- 毎月1日・15日……………月次祭



▲政成稲荷例祭の頃に咲く桜



▲初詣の参拝者で賑わう元旦



▲例大祭祭典のようす(左:祝詞奏上 右:舞楽奉納)



編集後記

地域の絆が希薄になる中、氏神と氏子という意識も忘れがちになっています。小紙はその関係をもう一度見つめなおしたいとの思いから発刊させていただきました。

例大祭「四日市祭」も、本来は氏子が奉つて奉仕するものでしたが、変わってまいりました。そこで本年度は、祭りに関する「寄合」(表裏に詳細記載を開催させていただきました。宮司のお話によれば、このような会合は約50年ぶりではないかとのこと。活発な話し合いができたことと喜んでおり、8月20日には2回目が開催されます。多くの方々のご協力の元、実り多き会になることを願っています。

諏訪神社総代 伊藤誠一・伊達貫一郎



知っているようで知らない豆知識 その②

「諏訪神社の「に」祭神」

「祭神は建御名方命(たけみなかたのみこと)と八重事代主命(やえこと)と三ぬしのみこと)の2柱。建仁2年(1202)、信州諏訪に鎮まる諏訪大社のご分霊を奉遷したと伝わります。両神はご兄弟神であり、記紀神話における国譲りにおいて大きな役割を果たされています。

建御名方命は行動力に優れた神であり、八重事代主命は言葉を司る神とされています。ものごとを切り開くときには、「行動」「武」と「言魂」「文」がともなうことが何よりも大切であり、このことを兼ね備えた両神のご神威が、800年に及ぶ深い信仰の礎になっています。

創刊2号 平成26年6月15日発行

催しや行事の詳細はそれぞれのホームページをご覧ください。

【四日市 諏訪神社】

検索

【諏訪神社に「に」プロジェクト】

検索